



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 内山 宏

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 053-444-0054

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	44,431	1.0	2,599	△15.6	2,692	△15.1	1,216	△25.7
25年3月期第2四半期	44,003	△1.7	3,078	△0.5	3,172	2.1	1,636	2.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,457百万円 (△20.3%) 25年3月期第2四半期 1,829百万円 (2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	145.58	—
25年3月期第2四半期	195.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	86,801	32,448	32,448	32,448	32.3
25年3月期	86,920	31,215	31,215	31,215	31.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 28,002百万円 25年3月期 26,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	21.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	2.3	6,900	18.2	6,900	15.8	3,500	12.9	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,356,000 株	25年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,831 株	25年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,353,174 株	25年3月期2Q	8,353,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(4) その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国をはじめとする海外経済停滞の影響が懸念されるものの、政府による経済政策の効果により、輸出関連企業を中心とした企業業績の好転や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復してきました。

当業界におきましては、消費マインドの回復から物量が増加傾向にあるものの、原油や原材料価格が上昇するなど、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益444億31百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益25億99百万円（同15.6%減）、経常利益26億92百万円（同15.1%減）、四半期純利益12億16百万円（同25.7%減）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、209億54百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は、18億13百万円（同24.3%減）となりました。

減収減益の主な要因は、前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したものの、物量減少等により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、年間15社の受託目標に対し、9社の物流を受託しており順調に推移しております。

また稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた14社のうち10社稼働しております。残りの4社につきましては、平成25年10月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により74センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、234億77百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は、7億84百万円（同15.6%増）となりました。

営業収益につきましては、近物レックス(株)における物量の増加及び新規顧客の獲得が進んだことにより増加しております。

営業利益につきましては、営業収益の増加と、近物レックス(株)における日々管理による無駄な経費の抑制により、営業利益は増加致しました。

今後の取組みといたしましては、燃料価格の上昇によるコストアップをカバーするため、近物レックス(株)において、運賃価格の改定交渉による営業収益の確保と、更なる日々管理の充実による外注費の抑制を図り、適正利益の確保を図ってまいります。また、平成25年10月に、全車輻へドライブレコーダーを設置し、輸送品質の向上を図ってまいります。

当企業グループ内での設備の有効活用を図るため、グループ内での施設共同利用を進めております。これにより更なる採算性の向上を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第2四半期の状況）

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億19百万円減少し、868億1百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少により流動

資産が12億91百万円の減少し、有形固定資産等の増加により固定資産が11億71百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比13億52百万円減少し、543億52百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、その他流動負債の減少により流動負債が19億50百万円減少し、固定負債が5億98百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比12億32百万円増加し、324億48百万円となりました。これは主に、四半期純利益12億16百万円の計上と剰余金の配当による減少1億67百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の31.0%から32.3%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要により物量の増加が見込まれる一方、原油や原材料価格の上昇は今後も続くと考えられることから、引続き厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター(3PL)事業を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

平成26年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円(前年同期比2.3%増)、連結営業利益69億円(同18.2%増)、連結経常利益は69億円(同15.8%増)、連結当期純利益は35億円(同12.9%増)を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間32百万円の影響となります。また、借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間20百万円の影響となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,080	4,222
受取手形及び売掛金	11,752	11,277
商品	2	1
貯蔵品	123	123
その他	1,795	1,836
貸倒引当金	△29	△28
流動資産合計	18,724	17,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,094	22,476
土地	34,416	34,931
その他(純額)	4,495	5,412
有形固定資産合計	62,005	62,820
無形固定資産	2,028	2,095
投資その他の資産	4,161	4,450
固定資産合計	68,195	69,367
資産合計	86,920	86,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	5,441
短期借入金	21,740	20,931
未払法人税等	1,279	952
賞与引当金	592	616
役員賞与引当金	46	26
その他	4,695	4,323
流動負債合計	34,242	32,291
固定負債		
長期借入金	11,449	11,278
退職給付引当金	4,939	4,968
役員退職慰労引当金	423	449
その他	4,649	5,364
固定負債合計	21,462	22,060
負債合計	55,704	54,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	18,853	19,902
自己株式	△8	△8
株主資本合計	26,841	27,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	112
その他の包括利益累計額合計	69	112
少数株主持分	4,305	4,445
純資産合計	31,215	32,448
負債純資産合計	86,920	86,801

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	44,003	44,431
営業原価	39,815	40,772
営業総利益	4,187	3,659
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4	2
役員報酬	220	213
給料及び手当	268	256
賞与引当金繰入額	46	38
役員賞与引当金繰入額	26	27
退職給付費用	14	14
役員退職慰労引当金繰入額	32	32
その他	496	475
販売費及び一般管理費合計	1,108	1,059
営業利益	3,078	2,599
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	21	18
負ののれん償却額	101	101
助成金収入	66	12
雑収入	124	212
営業外収益合計	314	345
営業外費用		
支払利息	190	160
雑損失	30	92
営業外費用合計	220	252
経常利益	3,172	2,692
特別損失		
減損損失	—	30
賃貸借契約解約損	—	13
投資有価証券評価損	13	3
損害賠償金	—	51
和解金	—	233
契約解除に伴う損失	—	52
特別損失合計	13	385
税金等調整前四半期純利益	3,158	2,307
法人税、住民税及び事業税	1,265	911
法人税等調整額	39	△9
法人税等合計	1,305	901
少数株主損益調整前四半期純利益	1,853	1,405
少数株主利益	217	189
四半期純利益	1,636	1,216
少数株主利益	217	189
少数株主損益調整前四半期純利益	1,853	1,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	51
その他の包括利益合計	△24	51
四半期包括利益	1,829	1,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,617	1,259
少数株主に係る四半期包括利益	211	198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	21,133	22,869	44,003	—	44,003
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	261	661	922	△922	—
計	21,394	23,531	44,926	△922	44,003
セグメント利益	2,396	678	3,075	3	3,078

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	20,954	23,477	44,431	—	44,431
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	229	615	845	△845	—
計	21,184	24,092	45,277	△845	44,431
セグメント利益	1,813	784	2,598	1	2,599

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、資産有効活用のため、近物レックス(株)(連結子会社)の松本支店を松本運送(株)(連結子会社)が所有する施設に移転することが決まり、使用が見込まれない固定資産について、減損損失を認識いたしました。なお、該当減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において30百万円であります。

(4) その他

前連結会計年度及び前第2四半期累計期間の実績につきましては、平成25年8月13日付で公表しました「(訂正・数値データ訂正)「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」」及び「(訂正)「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」」の実績を基に作成しております。